

領 収 書

平成28年8月4日

飯田昌弘 議員

金額
(消費税込)

921円

第1回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成28年5月15日報告会開催)



佐野市議会報告会運営委員長 飯田昌弘

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 証

No. 28-00394

飯田 昌弘 殿

2016年6月27日

金額										円
										¥41,500

100万円以下	200円
200万円	400円
300万円	600円
500万円	1,000円
1,000万円	2,000円
2,000万円	4,000円
3,000万円	6,000円
5,000万円	1万円
1万円	1円
2万円	2円
3万円	3円
5万円	5円
10万円	10円
10万円超	20万円

上記金額正に領収致しました
但し
内消費税

内 訳										
現金										41,500
小切手 通										
手形 通										
手形 期日										/ ~ /
銀行振込										
相 殺										
値 引										

総合印刷機材
株式会社 松田
本社 栃木県佐野市栄町3-1
TEL 0283(23)2513(代)



(注) 社印・取扱者印なきもの及、金額訂正は無効
金額の頭部には等を記入のこと。

納品書

株式会社 松田
栃木県佐野市栄町3-1
TEL 0283(23)2513(代)
FAX 0283(23)2518

飯田 昌弘 様

お届先

下記の通り納品致します。

日付	伝票番号	お客様コード	担当	取引	発行番
16/06/27	38255	019980	社長	売掛	659

区分	商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
売上	市議会報告書(A4.1GX1C)	3,500	部		38,426	
備考	飯田昌弘様					
		38,426		消費税	3,074	合計
					41,500	

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 証

№9-00101

2016年9月23日

飯田昌弘 殿

金 額							円
	¥	4	1	5	0	0	

上記金額正に領収致しました
但し
内消費税

内 訳	
現 金	4 / 5 0 0
小切手 通	
手 形 通	
手形期日	/ ~ /
銀行振込	
相 殺	
値 引	

100万円以下 200円
200万円 400円
300万円 600円
500万円 1,000円
1,000万円 2,000円
2,000万円 4,000円
3,000万円 6,000円
5,000万円 1万円
1万円 2万円
2万円 3万円
3万円 5万円
5万円 10万円
10万円 15万円
100万円超 20万円

総合印刷機材
株式会社 松田
本社 栃木県佐野市栄町3-1
☎ 0283-21513(代)

取扱者印

(注) 社印・取扱者印なきもの及、金額訂正は無効
金額の頭部には〒を記入のこと。

納品書

- 1 -

株式会社 松田

栃木県佐野市栄町3-1
TEL 0283(23)2513(代)
FAX 0283(23)2518

飯田昌弘 様

お届け先				
日 付	伝票番号	お客様コード	担 当	取引 発行 者
16/09/23	39186	019980	その他	売掛 659

下記の通り納品致します。

区分	商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	市議会報告書(A4.1CX1C)	3,500	部		38,426	
備考	飯田昌弘様	38,426		3,074	合計 41,500	

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

領 収 証

No. 29-00133

飯田昌弘 殿

2016年12月19日

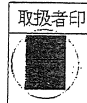
金額										円
										¥41500

100万円以下	300円
200万円	400円
300万円	500円
500万円	1,000円
1,000万円	2,000円
2,000万円	4,000円
3,000万円	8,000円
5,000万円	1万円
1万円	1万円
2万円	2万円
3万円	3万円
5万円	5万円
10万円	10万円
15万円	15万円
10万円	30万円

上記金額正に領収致しました
但し
内消費税

内 訳										
現金										41500
小切手	通									
手形	通									
手形	期日			/		-		/		
銀行	振込									
相	殺									
値	引									

総合印刷株式会社
 株式会社 松田
 本社 栃木県佐野市栄町3-1
 TEL 0283(23)2513(代)



(注) 社印・取扱者印なきもの及、金額訂正は無効
 金額の頭部には¥を記入のこと。

納品書

株式会社 松田
 栃木県佐野市栄町3-1
 TEL 0283(23)2513(代)
 FAX 0283(23)2518

飯田昌弘 様

お届先						
日付	伝票番号	お客様コード	担当	取引	発行番	
16/12/19	40244	019980	その他	売掛	659	

下記の通り納品致します。

区分	商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
売上	市議会報告書(A4.1GX1C)	3,500	部		38,426	
備考	飯田昌弘様					
		38,426		3,074	合計	41,500

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

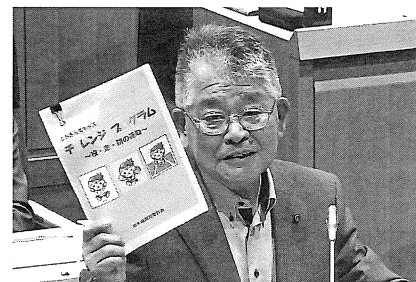
第 4 5 号
2 0 1 6 年
6 月 発 行

いいだ昌弘 市議会報告

発行 大樹会
飯田昌弘
佐野市堀米町81-7
TEL・FAX 0283(22)8523
携 帯 090-3067-7963
e-mail m-iida@sctv.jp

紫陽花が色鮮やかに咲き誇る今日この頃、後援会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平成28年第2回市議会定例会で篠原一世議長、若田部治彦副議長が誕生しました。

12年目を迎えた議員生活、皆様と共に手をそえて佐野市を少しでも良くしようと全身全霊で働きます。



今後とも、皆様の温かいご指導、ご鞭撻、ご支援を心よりお願い申し上げます。
(建設常任委員会委員、都市計画審議会委員、議会報告会運営委員長)

平成28年第2回佐野市議会定例会（一般質問）

○いじめ問題について

昨年度の「市政に関するアンケート」調査結果で、合併前に比べて特に悪くなったと感じる事項について、順位1位にいじめ防止、家庭や地域での教育力の向上が12.1%で、いじめ問題が終結するには程遠い結果に、私は大きな衝撃を受けました。

本市は、こどもに対する基本理念「こどものまち宣言」がなされ、平成26年8月26日、こどもたちを中心としたいじめゼロさのまるサミット実行委員会から「佐野市いじめゼロさのまるサミット宣言」がなされ、これを受けて佐野市の青少年とともに育つ市民の会が平成27年度栃木県委託事業『親子の心のふれあい推進プロジェクト』で12月5日『いじめゼロ大人宣言』がなされました。佐野市のすべての大人は、こどもたちの心を受け止め、認め合う地域をつくり、こどもを大切に育て、見守り続けます。こどもたちが「感動する心」「感謝する心」「思いやる心」「奉仕する心」を育み、心豊かに成長するために、家庭、学校、職場、地域社会で、大人たちが自ら進んで行動します。

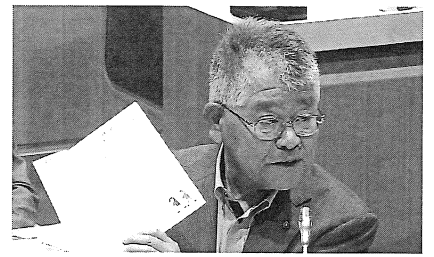
○当局と市民の間でいじめに対する認識に差が生じているように思われます。実態の把握と対応、家庭での対応についてお伺いいたします。

★岩上日出男教育長 現在、各小中学校で家庭や地域と一体となっていじめ未然防止に取り組んでいます。教育委員会では、いじめの実態について把握しているわけですが、とらえ方の違いや、関心の高さ、社会情勢等により、市政に関するアンケートとの差が生じているものと考えています。本市では、昨年度佐野市いじめ防止基本方針を策定いたしました。今後も、学校と家庭や地域が一体となっていじめ未然防止体制づくりの推進を図ってまいります。

★徳原文男教育総務部長 子を持つすべての保護者を対象に子育ての不安や疑問等を解決する手助けをし、子育てに関する学習の機会や情報の提供をするために、保育園や幼稚園、小中学校に出向き家庭教育出前講座を開催しております。保育園は保護者会の中で「子育て学級」小学校では、就学時健康診断や一日入学、保

護者会の中で開催、次年度に入学する子を持つ保護者が主です。

学校現場からは「はじめは緊張していたが、和やかな雰囲気の中で保護者同士が打ち解けることでこどもの入学に向けての不安も減り、こどもたちにもいい影響を与えている。」保護者からは、「毎日子供たちと向き合い、イライラすることが多かった。講座を受けて、今までの子育てを見直し、もう少し余裕をもって子どもたちと接しようと思った。」や「自分の日頃のこどもとの接し方の中に、大切なことが多くあることを知り、ちょっと自信になった。」という意見をいただきました。日頃の子育てを振り返るとともに、他の保護者を知ろうとする、そして知り合える、親同士がつながる機会を提供していきます。



○認知症サポーターのスキルアップについて

65歳以上の高齢者の4人に1人は認知症またはその予備軍とされています。本市の認知症の人数と3年後、5年後の予測数をお伺いいたします。

★高橋主也健康医療部長 厚労省の「認知症の人の将来推計について」等により平成27年5,243人、平成32年5,997人、平成37年6,626人でございます。

○認知症サポーターの人数と今後更に増えると予測される認知症の対応について上級講座の開設についてのお考えをお伺いいたします。

★認知症サポーターの人数は平成28年3月31日現在で、10,861人でございます。本市では認知症サポーターの認知症の人に対する理解や能力のさらなる向上を目的として、フォローアップ講座を開催し、専門家を講師に、対応についての講話や、グループワークなどを行い、スキルアップを図ってまいりました。認知症の人やその家族にやさしい地域づくりを進め、地域や職域など様々な場面で活躍していただきたく、今年度中に、上級講座を開催してまいりたいと考えております。

○健康づくり活動としてのマイレージについて

大樹会は4月高知市に「こうち笑顔マイレージ推進事業」の視察にいきました。事業目的は高齢者の活躍の場の創出による生きがい・やりがいづくり、社会参加活動を通じた高齢者自身の介護予防の推進及び健康増進の促進を図るものです。事業概要は65歳以上の市民のボランティア活動やいきいき百歳体操などの健康づくり活動に対しポイントを付与し、還元を行う事業です。

○こうち笑顔マイレージ推進事業についての感想と本市が目指すマイレージ事業についてのお考えをお伺いいたします。

★高知市のマイレージ事業については、とても優れた事業であると思います。参考にすべき点も多いと感じております。本市のマイレージ事業は、市民の健康づくり、健康増進、介護予防の推進を目的に、関係各課のイベントや健康に関係する事業、民間とも連携を図りながら、他自治体を参考に、いろいろな事業に参加することにより、いろいろな景品と交換できることで、一人でも多くの方に参加したいと思っていただけるような制度にしたいと考えております。

○総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団について

議会だより8月号飯田昌弘一般質問に掲載予定です。

第 4 6 号
2 0 1 6 年
1 0 月 発 行

い い だ 昌 弘 市 議 会 報 告

発 行 者 自民佐野
飯田昌弘
佐野市堀米町81-7
TEL・FAX 0283(22)8523
携 帯 090-3067-7963
e-mail m-iida@sctv.jp

暑かった夏も去り、秋風さわやかな季節となりましたが、後援会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成 28 年第 3 回市議会定例会が開催され、27 年度決算審査、28 年度補正予算審査がおこなわれました。

子育て支援策・高齢化対策は、人口減少や高齢化のスピードを抑えるうえで、重要な役割を果たします。皆様と一緒に頑張って全力で取り組みます。今後とも、皆様方の温かいご指導、ご鞭撻、ご支援を心よりお願い申し上げます。
(建設常任委員会委員、都市計画審議会委員)



平成 28 年第 3 回佐野市議会定例会 (一般質問)

◎待機児童と保留児童の現状と解消策について

28 年度入園の保留児童が 108 名いました。保留児童の推移と 29 年度予測をお伺いいたします。

★藤井謙一こども福祉部長 108 名とは、28 年度入園の第 2 次利用調整後で、3 次利用調整後に 118 名となり、そのうち現在まで 8 名が入所しました。その後、毎月の途中入園申し込みを受け、9 月 1 日現在の保留児童は 159 名です。3 次申し込み時点児童数は、0～2 歳児までの、27 年度 422 名、新規受入枠が 377、これに対する 4 月 1 日時点の内定児童数が 343 名でした。

28 年度申込児童数 507 名、新規受け入れ枠 369、これに対する 4 月 1 日時点の内定児童数が 358 名です。

29 年度につきましては、今年度と同程度、約 500 名と推計しています。

29 年度当初までに整備される小規模保育施設 2 か所、認定こども園等の新たな整備、保育士の確保、市独自の面積要件の緩和によって、約 110 名の保育の枠が拡充される予定でございます。新規受け入れ枠を 446 と推計します。

○今年度中にできる処遇改善策と今後の予定についてお伺いいたします。

★臨時保育士の処遇を改善し、人材の確保に努めます。現在の報酬額が日額で一律 8,700 円を、10 月の給与算定分から経験と職責を加味し、9,000 円から 10,000 円の範囲に増額します。短時間勤務の保育士は、時給 990 円を 1,100 円に増額し、これに要する費用は、今回、補正予算を計上しております。

○待機児童ゼロに向けた佐野市保育所整備運営計画についてお聞きします。

★よねやま保育園の建替え以降の計画に大幅な遅れが生じている状況です。今年度(仮称)高萩・若宮統合保育園の設計を行っており、平成 29 年度に建設工事が行われます。その後に位置づけされる堀米・吉水統合保育園を初めとする整備につきましては、整備手法を含めて位置づけ、早期実現に取り組みます。

◎新規がん患者 101 万 200 人に対する対応策

○佐野市の平均寿命と健康寿命お伺いいたします。

★高橋主也健康医療部長 県のデータを報告します。
平均寿命は男性 79.06 歳、女性 85.66 歳。健康寿命は男性 70.73 歳、女性 74.86 歳でございます。

今後は本市の健康寿命等データの把握に努めます。

○国立がん研究センターは 7 月 15 日、2016 年に新たに
がんと診断される患者 101 万 200 人、がんで死亡する人



が 37 万 4 千人になるとの予測を発表しました。新規の患者が 100 万人を超えるのは初めてで、高齢者の増加に伴い、がんを発症する人が増えるかとみています。

部位別では、大腸がん 14 万 7200 人、胃がん 13 万 3900 人、肺がん 13 万 3800 人、前立腺がん、乳がんと続き、上位 5 位は昨年と同じでした。

死亡する人は昨年より 3000 人増。1 位肺がん 7 万 7300 人、2 位大腸がん 5 万 1600 人、3 位胃がん 4 万 8500 人。佐野市のがんに関する資料をご提示ください。また、傾向等をお聞かせください。

★死亡数について平成 26 年の部位別死亡数の 1 位は大腸がん 70 人 (17.1%) 2 位 肺がん 67 人 (16.3%) 3 位 胃がん 61 人 (14.9%) 4 位 肝臓及び胆のうがん 55 人 (13.4%) です。

男女別では、男性 1 位肺がん 45 人、2 位大腸がん 43 人、3 位胃がん 35 人。女性 1 位は大腸がん 27 人、2 位胃がん 26 人、3 位肺がん 22 人でございます。

傾向としましては、県との比較で本市は大腸がんの占める割合が高いです。

○がん対策の現状と予防・早期発見についての施策についてお伺いします。

★平成 26 年度のがん検診の受診率は胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの 5 項目すべて、県平均を下回り、特に胃がん、子宮頸がん、乳がんについては 25 市町中 24 位と低迷しています。

がんは早期治療により治る病気であります。検診や人間ドックを受診し早期発見することが重要であるという意識啓発に努めてまいりたいと思います。

さらに、がんの発症を抑える予防対策の取組も重要であると思いますので、まずは禁煙についての啓発活動を実施していきたいと考えています。

○がんの早期発見に有効な手段である人間ドックについてお伺いします。厚生総合病院と佐野市民病院では検診内容に相違がみられます。市民病院の消化器科 U 医師は、検便での大腸がん検査は 50%程度の確率であり、内視鏡での検査が必要であると力説されました。今後の取り組みについてお聞きします。

★胃がんの検査でも、内視鏡検査が標準となっていないなど、検査内容は検査機関の方針や体制に負うところが大きく、独自の検査が組み込まれています。佐野市では大腸がんの占める割合が多いことから今後、検査機関と十分協議して参りたいと思います。

○高齢がん患者の対策についてどのようにお考えかお伺いいたします。

★一人暮らしや老夫婦だけの世帯、認知症の方や様々な病気を持った患者の方に寄り添い、誰もが地域で安心して自分らしく生活できるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進してまいりたいと考えております。

◎インフラ整備と防災対策について

○一般県道唐沢山公園線改築事業の今後の対応と進捗について

○河川・砂防等災害防除施設の要望状況と進捗状況について

第 4 7 号
2 0 1 7 年
1 月 発 行

い い だ 昌 弘 市 議 会 報 告

発 行 者 自 民 佐 野
飯 田 昌 弘
佐 野 市 堀 米 町 8 1 - 7
TEL・FAX 0283(22)8523
携 帯 090-3067-7963
e-mail m-iida@sctv.jp

後援会の皆様、あけましておめでとうございます。

人口減少・超高齢社会の到来や、扶助費の増加、一般財源の減少が想定されるなか、安定した仕事や子育て支援、新しい人の流れをつくり地方創生の成果を上げ、社会資本の整備など将来への投資も必要です。



全力で安全・安心のまちづくりに挑戦してまいります。

今後とも皆様の温かいご指導、ご鞭撻、ご支援を心よりお願い申し上げます。

(建設常任委員会委員、都市計画審議会委員)

平成 28 年第 4 回佐野市議会定例会 (一般質問)

◎快適で質の高い住環境の整備として、堀米町八幡宮周辺について

①普通河川鷲川と周辺の開発による影響と対策についてお伺いいたします。

★藤本真澄都市建設部長答弁 鷲川の流域は 9.2km²、普通河川が 3.3km です。普通河川は計画断面を決定して整備を行っておりませんので、計画断面は未策定です。今後、ゲリラ豪雨や宅地化が進むことにより、流量が増えることが想定されるため調査や整備計画を作成する必要がありますが、すぐに対応ができないため、下流域の治水安全域とのバランスを考慮し現況の河道状況を生かし現況以上の河川の能力を高める整備と下流域の浚渫等の維持管理を引き続き進めてまいりたいと考えております。

②市道堀米47号線の鷲川交差部 (ボックス部分) がボトルネックとなっていると思われませんが下流域の準用河川との整合性についてお伺いいたします。

★豪雨時に川の流れを確認したところ、議員ご指摘のとおりボックスの断面が狭く水の流れが阻害されていると思われるため、流量計算等の調査を進めてまいります。

③市道堀米47号線 (カワチの西側、たちばな幼稚園の東側) 沿線で小規模保育所、認定こども園が計画されています。送迎の車両が大幅に増えると予測されます。安全性に対する考え方と対処方法をお伺いいたします。

★南北の一部の区間で幅員が 4m と狭隘な道路となっており、交互交通ができにくい道路であると確認しております。小規模保育所や宅地開発が見込まれており、議員ご指摘のとおり、更なる交通量の増加が予測されます。

対策といたしまして、道路改良事業での道路拡幅が考えられますが、物件補償等に多くの時間と費用を要することになります。しかしながら、今後予測されます交通状況を踏まえ、路肩部の一部改良や隅切り改良、区画線の設置や注意喚起の看板の設置なども考えられます。今後の対応となりますが、地元町会と連携を図り対応について検討してまいります。

◎子育てと仕事の両立支援のうち、保育園について

①現時点での保留児童数と平成 29 年の推計受け入れ枠、受入数、保留児童数をお伺いいたします。

★藤井謙一こども福祉部長答弁 12 月 1 日で入園希望で保留となっている児童は、全体で 171 人、うち 0 歳児から 2 歳児までが 161 人となっております。



平成 29 年の新規申込者は全体で 675 人。うち保育施設等に入園していない児童は 571 人となります。

保留児童の大半を占める 0 から 2 歳児について申し上げますと、現在の受け入れ枠 780 人に対して、在園児が 454 人ですので差引 326 人が新規受入れ可能です。これに、こども園移行と小規模新設による拡充分 111 人、437 人です。

0 から 2 歳児の申し込みが 476 人ですので、差引 39 人の保留児童が見込まれます。

この対策につきましては、公立保育所での保育士確保により、受け入れ枠を拡充することで解消するよう、努めてまいります。

②平成 30 年の推定保留児童数をお伺いいたします。

★0 から 2 歳児の入園希望者を 930 人とします。受け入れ枠は、平成 28 年度の受け入れ枠 780 人に、保育士確保による公立の受け入れ枠 39 人分及び、平成 30 年までに拡充される 139 人分を足しますと 958 人となり（プラス 28 人）、保留児童が解消される見込みになります。

③堀米保育園の位置づけと今後の予定についてお伺いいたします。

★堀米・吉水統合保育園の建設につきましては、整備中の（仮称）高萩・若宮統合保育園の次に整備することになっておりますが、東日本大震災以降の公共施設の整備に係る多様な影響から遅れている状況です。

現状を踏まえて、平成 29 年度に佐野市保育所整備運営計画の見直しを完了することから、堀米・吉水統合保育園の整備は、第 2 次佐野市総合計画・前期基本計画における整備に向けて努めてまいりたいと考えております。

◎安全で安心して学べる教育環境の整備として通学路について

①平成 27 年 9 月議会で取り上げた 1 級 2 号線久保町踏切についてお伺いいたします。JR の踏切部が 5.5m で朝夕の通勤通学に多くの支障を来しています。前回以降の協議内容をお伺いいたします。

★藤本真澄都市建設部長答弁 本踏切につきましては、平成 24 年度に通学路の危険箇所として報告され、通学路安全対策委員会で合同点検を実施いたしました。直近での対策が難しいため、学校では、教員による交通指導や自転車を押して横断する等の対策を実施し、生徒の安全確保を図っております。

10 月に鉄道事業者と情報交換を行い、整備の前提条件として市道拡幅が大前提であること、費用は全額市の負担とのことでした。歳入面を考えると、今後国庫補助事業として県と協議いたしまして、防災安全交付金事業の採択が可能性があることから、周辺整備計画に基づく都市整備計画の構想について今後検討してまいりたいと考えております。

◎特色ある心の教育の推進について

○全国学力テストの佐野市の結果と分析、学力向上策について質問しました。